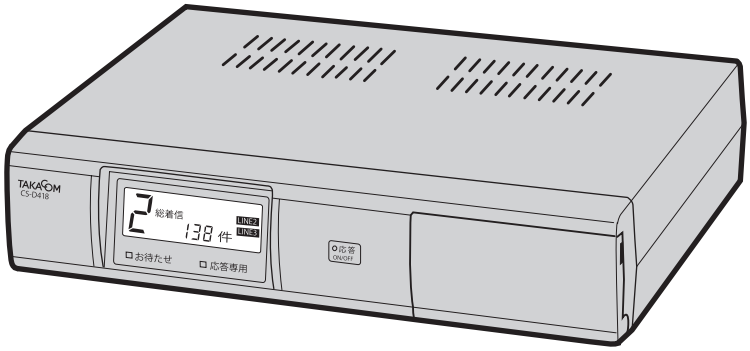
電話着信お待たせ装置

コールシーケンサー
CS-D418



取扱説明書

このたびは、電話着信お待たせ装置「ＣＳ－Ｄ４１８」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元においてお使いください。

株式会社 タカコム

目　次

安全にお使いいただくために 3
はじめに 5
■セットの確認 5
概　要 6
■特　長 7
各部の名前とはたらき 8
お使いになる前に 10
■機能設定 10
■機能設定のしかた 12
メッセージの録音と再生 14
■メッセージの録音のしかた 14
■メッセージの再生のしかた 16
応答セットをするとき 18
■お待たせモード（通常・コールスクリーニング）で応答セットをするには 18
■お待たせモード（選択呼出し）で応答セットをするには 19
■お待たせモード時の着信データ表示について 20
■応答専用モードで応答セットをするには 21
■応答セットを解除するには 22
設置工事 23
■電話回線の接続 23
■外部音源の接続 24
■電源の接続 24
故障とお考えになる前に 25
主な仕様 26
機能設定入力表 27
アフターサービスについて 28

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマークの説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本機の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。
ワンポイント	この表示は、本機を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

⚠警告

ぬれた手で電源プラグを電源コンセントに抜き差ししないでください。 感電するおそれがあります。
電源コードの上に重い物を置いたり、無理に曲げたり、引っ張ることはやめてください。 電源コードを傷つけ、火災や感電の原因となります。
電源プラグはほこりが付着していないことを確認してから、確実にコンセントに差し込んでください。また、定期的に電源プラグを抜いて、点検・清掃してください。 ほこりなどによって、火災や感電の原因になります。
ＡＣ 100 Ｖ商用電源以外では、絶対に使用しないでください。また、タコ足配線による接続は絶対に行わないでください。 火災や感電の原因となります。
雷が鳴り出したら、筐体や電源プラグには触れないでください。 落雷による感電の原因になります。
本機の上に花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などの入った容器、または、小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となります。 万一、水などの液体や異物が入った場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店に点検を依頼してください。 そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
万一、異常な音がしたり、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常な状態に気づいたときは、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店に点検を依頼してください。 異常なまま使用すると、火災や感電の原因となります。
本機のキャビネットを外したり、改造または分解をしないでください。 火災や感電の原因となります。 改造や分解された場合、修理に応じられないことがあります。
床や壁の掃除などによって、電源コードやモジュラージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。付着した場合にはすぐに拭き取ってください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

⚠警告

アース線は、絶対にガス管にはつながないでください。 火災や感電の原因になります。
風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。 火災や感電の原因となります。
本機を積み重ねたり、通風孔をふさいだりして使用しないでください。 内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

⚠注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。
本機や電源コードを熱器具に近づけないでください。 本機のキャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。
長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
直射日光のあたるところや、冷暖房機の近く、湿度の高いところに置かないでください。 内部の温度が上がり、火災の原因となります。
湿気の多い場所や、水・油・薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所や鉄粉・有毒ガスの発生する場所には置かないでください。 火災や感電の原因となります。
ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重い物を置かないでください。 バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。

故障の原因になることがあるため必ずお守りください

STOP お願い

ベンジン・シンナー・アルコールなどで絶対にふかないでください。 変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布に付け、よく絞ってからふいて、そのあと、乾いたやわらかい布でふきとってください。
落としたり、強い衝撃を与えないでください。 故障の原因となります。
テレビ・ラジオ・無線機・電子レンジ・インバータ型蛍光灯など磁気、電波を発生するところや、違法無線を受けるところには置かないでください。 誤動作の原因となります。
製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。 正常に動作しないことがあります。
温泉地など硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多いところでお使いになると本機の寿命が短くなるおそれがあります。

はじめに

■セットの確認

次のものがそろっていることをお確かめください。
セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合は、販売店または最寄りの当社営業所へご連絡ください。当社営業所につきましては、当社ホームページ（http://www.takacom.co.jp）の「営業拠点」をご覧ください。

品　　名	個数	単位	備　　考
1．本体	1	台	
2．マイク	1	個	
3．録音用コード	1	本	
4．モジュラーコード	4	本	6極4芯コード
5．取扱説明書	1	冊	

ご使用にあたってのお願い

● 常に通電状態にある電源コンセント（ＡＣ１００Ｖ）につないでご使用ください。

● ご使用中は、絶対に電源コードを電源コンセントから抜いたりしないでください。

● 取扱説明書の内容につきましては万全を期していますが、お気づきの点がございましたら販売店または最寄りの当社営業所へお申し付けください。紛失や損傷したときは、販売店または最寄りの当社営業所でお買い求めください。

● この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。　　ＶＣＣＩ－Ｂ

● 本機の仕様は、国内向けになっていますので、海外ではご利用できません。
This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.

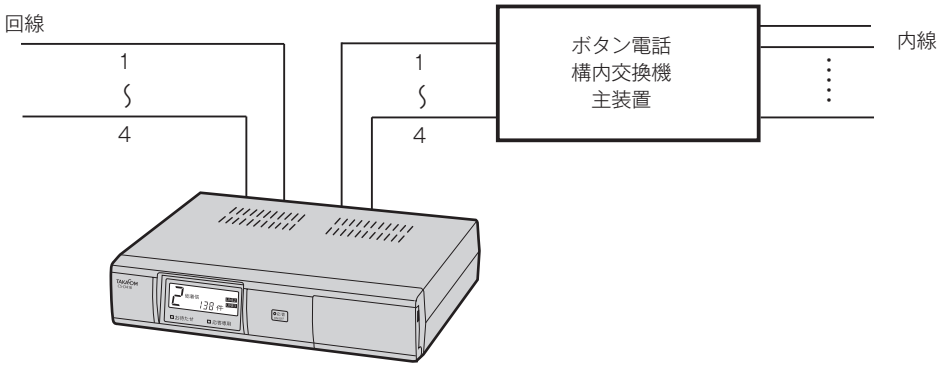
各種登録内容及びメッセージの停電補償について

● 機能設定などの各種登録内容及びメッセージは、フラッシュメモリを採用していますので停電状態になっても消去されることはありません。

概 要

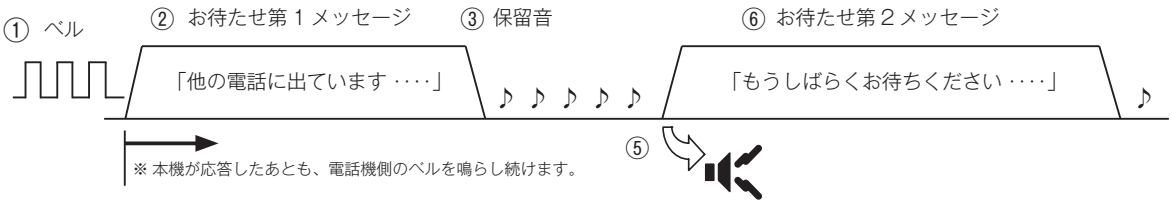
- 一度に複数の電話がかかって、すぐに応対できない回線に対して、お待たせメッセージにより自動応答し、受付者が応対できるまで、お待たせ（自動保留）できます。
- お待たせ中は、ディスプレイにより最古着信（一番最初にかかった着信）の表示とお待たせ中を知らせるブザーを鳴らすことができます。
- お客様からの選択信号（プッシュ信号）により、電話機を呼出すことができます。
- 営業終了後・休日には、応答専用の留守番電話として使用できます。

システム概要図（ボタン電話・構内交換機への設置例）



コールシーケンサー CS-D418

お待たせ動作図／標準動作の場合



標準動作

① ベルが３回鳴っても応対できないとき ･･･
② お待たせ第１メッセージをお客様にお伝えします。
③ その後は保留音を回線に送出します。
④ この間に電話に応対できないときは ･･･
⑤ 受付者にアラームブザーでお知らせします。
⑥ お客様にはお待たせ第２メッセージをお伝えします。

ワンポイント

- 本機動作中（②～⑥の間）に受付者が電話機から応対すると本機の動作は停止し、お客様と直接お話しできます。
- 標準動作以外に第１メッセージのみ流す方法があります。

■特 長

お待たせ機能

① すぐに応対できない電話に対し、お待たせメッセージ（第１）が案内でき、応対できるまで、お待たせができます。
② お待たせ中は、お客さまに保留音を流し、受付者には、応対する回線の優先順位がディスプレイで表示できます。
③ お待たせ時間が長いと、お客さまには「もうしばらくお待ちください。」といった別のメッセージ（第２）を流し、受付者にはスピーカからアラームブザーで早く応対するようお知らせします。
④ お待たせメッセージは、IC 録音方式で、２種類（お待たせ第１メッセージ、第２メッセージ）の録音ができ、応答時は、常にメッセージの冒頭から送出されます。
⑤ 保留音はオリジナル保留音・固定保留音・外部音源の３通りの方法で送出することができます。
⑥ 同時に応答できる回線数は、最大４回線です。（応答専用機能使用時も同様）

《コールスクリーニング機能》
⑦ 電話着信の始めから、お待たせ第１メッセージが終了するまで、電話機側の着信ベルを鳴らさないようにできます。
着信した通話を録音するとき、「この通話を録音します。‥‥」などの案内を流したあと電話応対する場合や、商品・企業の PR のあと電話応対する場合などに利用できます。
※ 通話の録音を行う場合は、別途、通話録音装置が必要になります。

選択呼出し機能

⑧ お客様からの電話着信に対し、選択呼出しメッセージで自動応答し、お客様からの選択信号（プッシュ信号）により、電話機を呼出すことができます。選択信号が入力されるまで電話機側の着信ベルは鳴りません。（その後の機能は、お待たせ機能と同じです。）
※ 選択信号は１種類です。したがって、呼出先を選ぶことはできません。
⑨ 選択呼出しメッセージは IC 録音方式で６種類の録音ができます。

応対データ表示機能

⑩ ディスプレイの表示により、お待たせ動作時の総着信・お待たせ・放棄（お待たせ中に相手が電話を切ること）などの件数が分かります。
（応答専用動作時は、総着信件数のみ表示します。）

応答専用機能

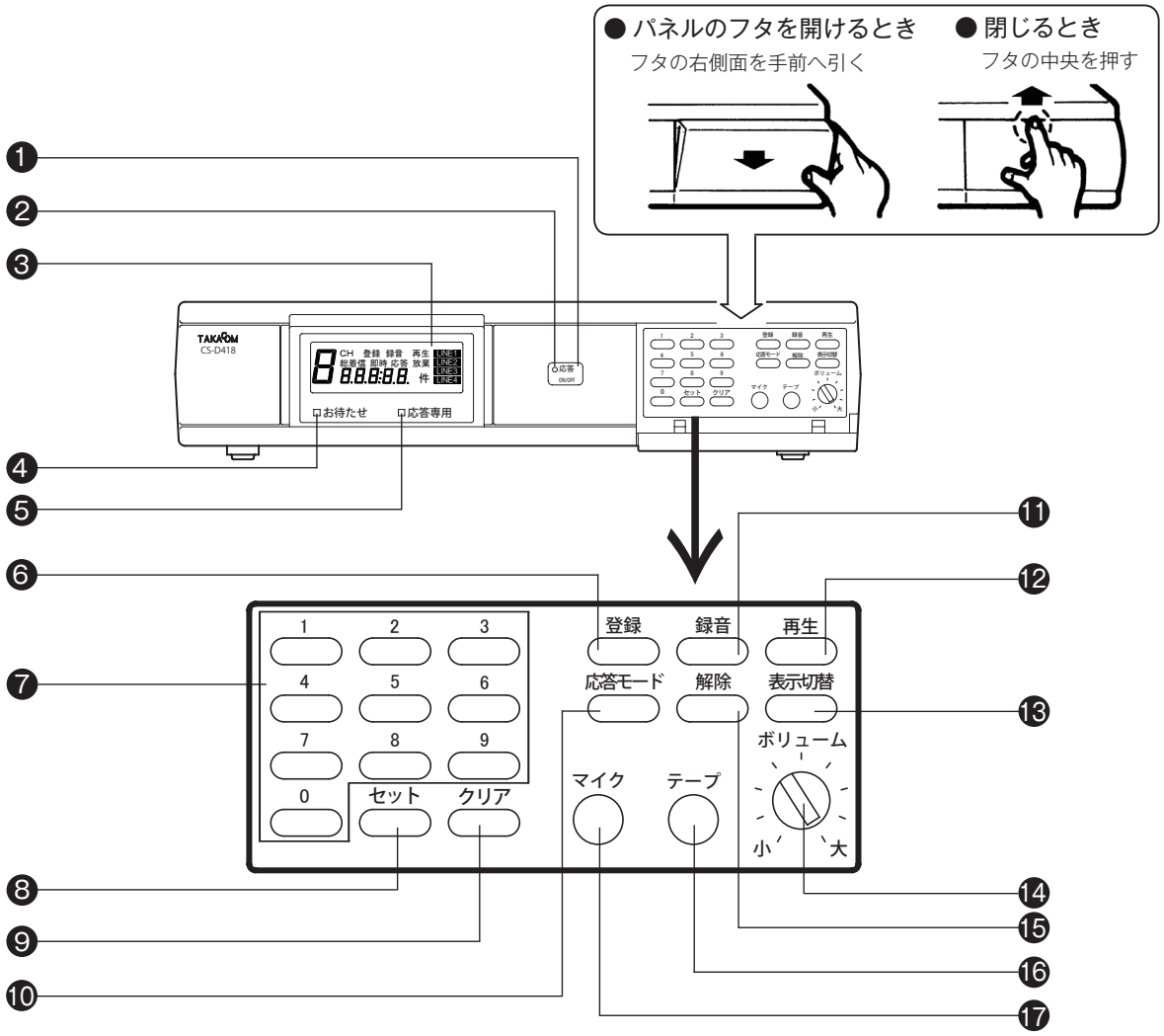
⑪ 営業終了後や休日にかかる電話に対しては、応答専用メッセージで案内します。
この場合、応答専用メッセージは、９種類をマニュアル操作で切替えて使用することができます。 なお、応答時は、常にメッセージの冒頭から送出されます。
（マニュアル操作により、営業中は、「お待たせ」に、営業終了後は、「応答専用」にモードを切替えてご利用できます。）

このほか・・・

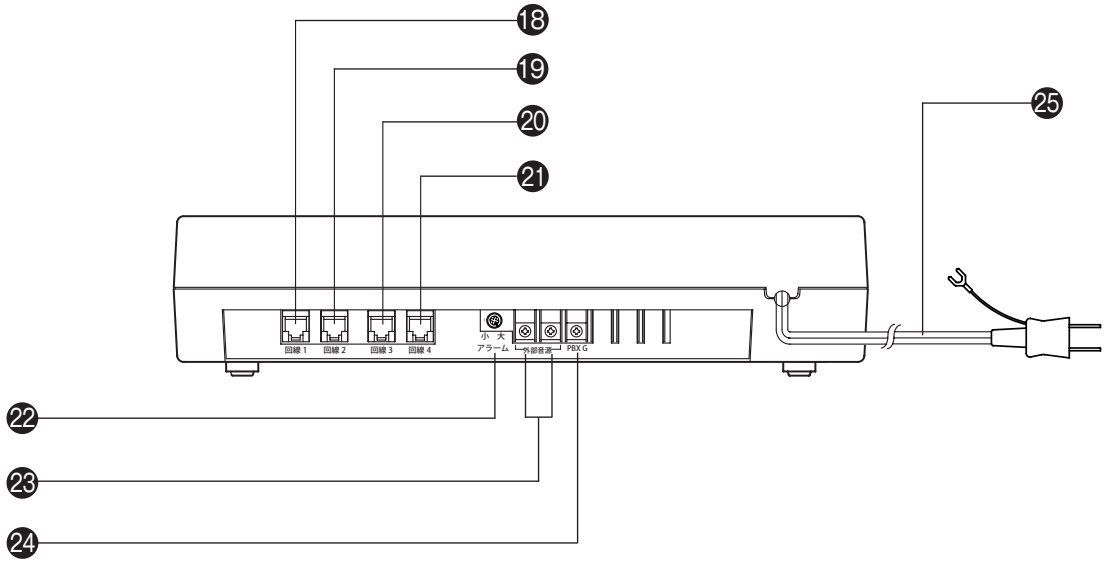
⑫ お待たせメッセージ／選択呼出しメッセージ／応答専用メッセージ／オリジナル保留音は、合計約 30 分まで録音することができます。（各メッセージごとの録音時間は自由です。）

各部の名前とはたらき

●前　面



●後　面



❶ 応答ボタン	お待たせ機能や応答専用機能を使用するときや解除するときに使用します。
❷ 応答ランプ	応答セット中は点灯し、解除されると消灯します。
❸ ディスプレイ	おもに、最古着信の回線番号表示（お待たせモード時）・応答専用メッセージのチャンネル番号表示（応答専用モード時）・着信データを表示します。登録中は、登録内容を表示したり、録音･再生の操作中は分･秒数表示などをします。
❹ お待たせモードランプ	お待たせモードに設定されているときに点灯します。
❺ 応答専用モードランプ	応答専用モードに設定されているときに点灯します。
❻ 登録ボタン	各種の登録をするときや登録内容を確認するときに使用します。
❼ 数字ボタン（0～9）	お待たせメッセージなどを録音・再生するときにメッセージのチャンネル番号を入力したり、各種の登録をするときに使用します。
❽ セットボタン	各種の登録のときなどに入力した数字が正しいときに使用します。
❾ クリアボタン	各種の登録のときなどに入力した数字を訂正するときに使用します。
❿ 応答モードボタン	お待たせモードと応答専用モードを切替えるときに使用します。
⓫ 録音ボタン	お待たせメッセージなどを録音するときに使用します。
⓬ 再生ボタン	お待たせメッセージなどを再生するときに使用します。
⓭ 表示切替ボタン	ディスプレイでお待たせ、または、応答専用動作中の着信データを知りたいときに使用します。
⓮ 音量調節ツマミ（ボリューム）	お待たせメッセージなどを本機で再生中、スピーカの音量を調節するときに使用します。
⓯ 解除ボタン	各種操作中、動作を解除するときに使用します。
⓰ テープジャック	お待たせメッセージなどを録音するときにオーディオ機器を接続するジャックです。
⓱ マイクジャック	お待たせメッセージなどを録音するときに添付のマイクを接続するジャックです。
⓲ 回線接続ジャック（回線１） ⓳ 回線接続ジャック（回線２） ⓴ 回線接続ジャック（回線３） ㉑ 回線接続ジャック（回線４）	電話回線及び電話機を添付のモジュラーコードで接続するジャックです。 （後面、向かって左から回線１・回線２・回線３・回線４の配列です。）
㉒ アラームブザー音量調節ツマミ	アラームブザーの音量を調節するときに使用します。
㉓ 外部音源入力端子	外部音源を使用して、お待たせ動作中の保留音を送出したいとき、この端子にオーディオ信号を接続します。
㉔ 接地端子（PBX GND)	ボタン電話や構内交換機に設置したとき、この端子にボタン電話、構内交換機の主装置の接地端子を接続します。
㉕ 電源コード（接地端子付き）	AC100V 電源コンセントへ接続します。（接地は必ず行ってください。）

お使いになる前に

■機能設定

機能設定などの登録の種類は、次の一覧表に示すように 23 種類あります。
お買い上げ時は初期値に設定されていますが、用途に合わせて細かく設定することができます。

	登録番号	登録項目と内容	入力値	入力値の意味	初期値
応答専用モード時の設定	０１	応答までの着信ベル回数の設定 ・着信ベル何回目で自動応答させるかの回数設定	1 ～ 20	：１回目の着信ベルで自動応答 ～ ：20 回目の着信ベルで自動応答	1
	０２	応答専用メッセージの送出設定 ・自動応答時に何チャンネルの応答専用メッセージを送出させるかの設定（ただし、手動でメッセージの選択設定も可能）	1 ～ 9	：１チャンネルのメッセージ送出 ～ ：９チャンネルのメッセージ送出	1
	０３	応答専用メッセージの送出回数設定 ・自動応答時に応答専用メッセージを何回送出するかの設定。	0 1 ～ 9	：相手が電話を切るまで繰返し送出 ：１回送出後、電話を切る ～ ：９回送出後、電話を切る	1
お待たせモード時の設定	１１	お待たせ動作機能の設定 ・お待たせ動作をどのような機能で動作させるかを設定	0 1 2	：通常 ：コールスクリーニング ・回線の着信ベル（外線ベル）の鳴りはじめから、お待たせ第１メッセージの送出が終るまでの間、電話機側へ着信ベルを送出させなくする機能 ：選択呼出し（相手のプッシュ信号による呼出し）	0
	１２	応答までの着信ベル回数の設定 ・着信ベル何回目で自動応答させるかの回数設定	1 ～ 20	：１回目の着信ベルで自動応答 ～ ：20 回目の着信ベルで自動応答	3
	１３	お待たせ動作中の着信ベル回数の設定 ・お待たせ動作中の回線がある場合、それ以降の着信は、１回目の着信ベルで自動応答させるようにするか、否かの設定。	0 1	：常に、登録番号 12 で設定したベル回数で自動応答 ：１回目の着信ベルで自動応答	0
	１４	選択呼出しメッセージの送出設定 ・選択呼出しモード時に何チャンネルのメッセージを送出させるかの設定（ただし、手動でメッセージの選択設定も可能）	4 ～ 9	：４チャンネルのメッセージ送出 ～ ：９チャンネルのメッセージ送出	4
	１５	選択呼出し受付け選択番号の設定（登録番号 16 との重複不可） ・選択呼出しで電話機を呼出す選択番号の設定	0 ～ 9	：プッシュ信号「0」 ～ ：プッシュ信号「9」	1
	１６	選択呼出しメッセージ繰返し選択番号の設定（登録番号 15 との重複不可） ・選択呼出しで再度選択呼出しメッセージを聞くときの選択番号の設定	0 ～ 9	：プッシュ信号「0」 ～ ：プッシュ信号「9」	0
	１７	お待たせ動作中の内線ベルの設定 ・お待たせ動作中に、内線側へベル信号（本機内部で発生）を送出するか、否かの設定。	0 1 2	：送出しない ：お待たせ動作中の全回線に送出する ：最古着信の回線のみ、送出する	1
	１８	お待たせ動作中の保留音の設定 ・お待たせ動作中に送出する保留音を内部保留音にするか、外部保留音にするかの設定。	0 1	：オリジナル保留音、固定保留音（オリジナル保留音が未録音）を使用する ：外部音源を使用する	0
	１９	お待たせ第２メッセージの送出時機の設定 ・お待たせ第１メッセージのあと、何秒後にお待たせ第２メッセージを送出するかを設定。 （この設定時間中は、保留音を送出）	0 1 ～ 999	：お待たせ第１メッセージに続いて送出 ：お待たせ第１メッセージのあと、１秒後に送出 ～ ：お待たせ第１メッセージのあと、999 秒後に送出	10
	２０	お待たせ第２メッセージ送出後の動作設定	0 1 2	：回線を切る ：内線側で応対するまで保留音を送出 ：お待たせ第１メッセージ後の動作を繰返す	1

	登録番号	登録項目と内容	入力値	入力値の意味	初期値
お待たせモード時の設定	21	アラームブザーの鳴動開始時機の設定 ・お待たせ中を知らせるアラームブザーをどの時点から鳴らすかの設定	0 1 2 3 4	：使用しない ：お待たせ第１メッセージの送出開始時から鳴動 ：お待たせ第１メッセージの送出終了時から鳴動 ：お待たせ第２メッセージの送出開始時から鳴動 ：お待たせ第２メッセージの送出終了時から鳴動	3
アフターサービス用の設定	31	回線保留時間の設定 ・着信に自動応答してから回線を開放するまでの時間設定	0 1 ～ 99	：連続 ：１分 ～ ：99 分	20
	32	検出ベル信号の設定 ・有効ベル信号の ON 時間とベルカウントタイミングの設定	0 1 2	：通常のベル信号 ：ナンバー・ディスプレイ、Ｌモード回線のベル信号 ：通常以外のベル信号	0
	33	ベル OFF 確定時間の設定 ・ベル信号が OFF になったことを確定する時間の設定	0 1 2	：2.5 秒 ：3.0 秒 ：3.5 秒	0
	34	メッセージ送出ディレイ時間の設定	0 1	：１秒（リバース判定ディレイ１秒） ：２秒（リバース判定ディレイ２秒）	0
	35	話中音検出時間の設定 ・相手が通話を終えたときに回線に出る話中音の検出時間設定	0 1 2 3	：100ms ：200ms ：300ms ：400ms	1
	36	話中音検出回数の設定 ・相手が通話を終えたときに回線に出る話中音の検出回数設定	0 1	：４回 ：８回	0
	37	内線の受話器上げ確定時間の設定 ・内線の受話器が上げられたことを確定する時間設定	0 1 ～ 15	：４ms ：６ms ～　(2n+4ms　n: 0 ～ 15) ：34ms	7 (18ms)
	38	受話器下ろし確定時間設定 ・内線の受話器が下ろされたことを確定する時間設定	0 1 ～ 28	：0.2s ：0.3s ～　(0.1n+0.2s　n: 0 ～ 28) ：3.0s	13 (1.5s)
	39	内線ベル周波数設定 ・内線へ送出するベル信号の周波数設定	0 1	：16Hz ：25Hz	1

STOP お願い

- 内線ベルを送出しない設定（登録番号 17:0）は、単独電話機の場合の設定です。ボタン電話、構内交換機の場合、お待たせ動作中の回線に応対できなくなりますので、この設定はしないでください。
- アフターサービス用の設定は、通常は、設定変更の必要はありません。
- 内線ベル周波数設定（登録番号 39）で 16Hz に変更する場合は、内線の受話器上げ確定時間の設定（登録番号 37）を「12」(28ms) に変更してください。
- ナンバーディスプレイ回線に接続して使用するときは、
  ・応答専用モードの場合、機能設定「登録番号 32」を「１」に設定してください。
  ・お待たせモードの場合、機能設定「登録番号 32」を「１」、「登録番号 11」を「０」、「登録番号 17」を「１」に設定してください。
  これ以外の設定で使用すると電話機へのナンバー情報が破棄されることがあります。
- ナンバーディスプレイ回線に接続して使用するときは、機能設定「登録番号 38」を「5」(0.7s) 以下の範囲で調整してください。「5」（0.7s）より大きいと着信件数が正常にカウントされない場合があります。

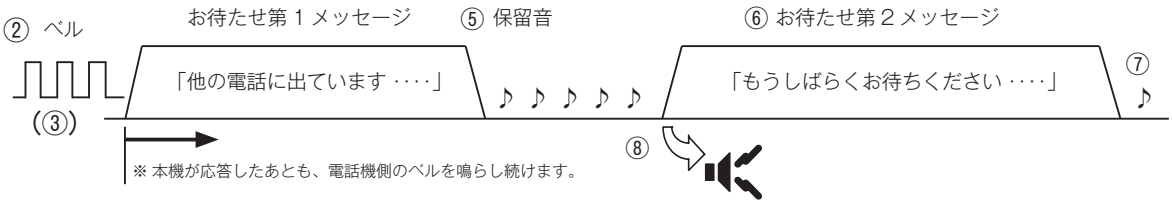
■機能設定のしかた

● 機能設定には、次の３通りがあります。

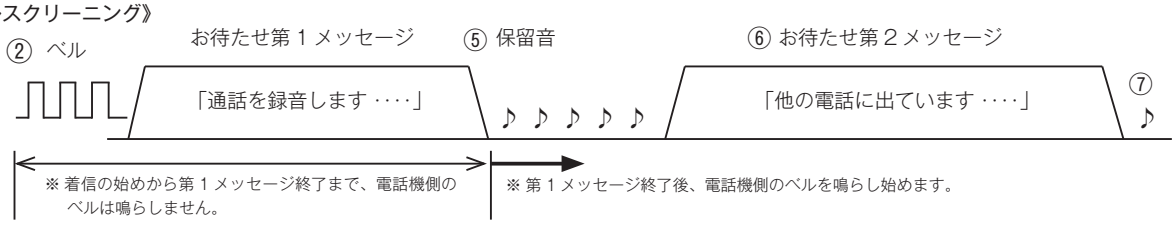
お待たせモード（通常・コールスクリーニング）

① お待たせ動作機能の設定 ····· 登録番号 11
② 応答までの着信ベル回数 ····· 登録番号 12
③ お待たせ動作中の着信ベル回数 ····· 登録番号 13
④ お待たせ動作中の内線ベル ····· 登録番号 17
⑤ お待たせ動作中の保留音 ····· 登録番号 18
⑥ お待たせ第２メッセージの送出時機 ····· 登録番号 19
⑦ お待たせ第２メッセージの送出後の動作 ····· 登録番号 20
⑧ アラームブザーの鳴動開始時機 ····· 登録番号 21

《通常》

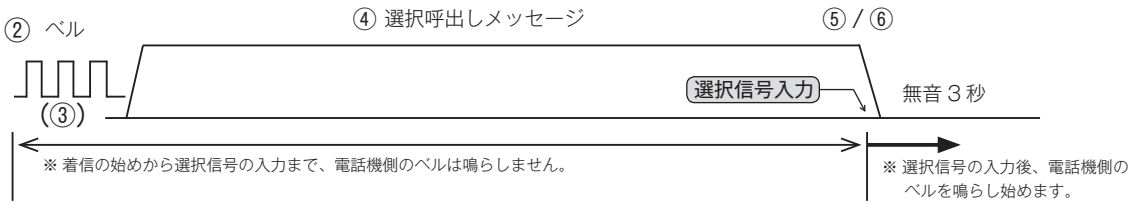


《コールスクリーニング》

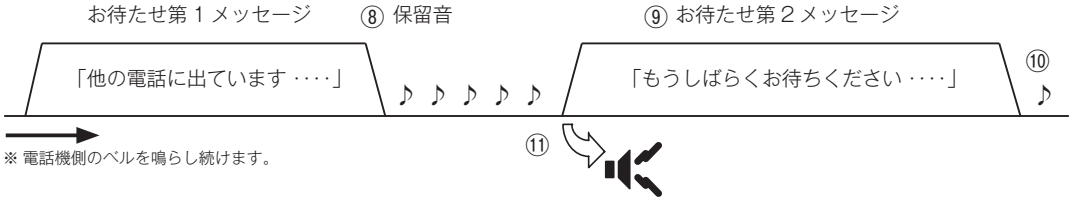


お待たせモード（選択呼出し）

① お待たせ動作機能の設定 ····· 登録番号 11
② 応答までの着信ベル回数 ····· 登録番号 12
③ お待たせ動作中の着信ベル回数 ····· 登録番号 13
④ 選択呼出しメッセージ ····· 登録番号 14
⑤ 選択呼出し受付け選択番号 ····· 登録番号 15
⑥ 選択呼出しメッセージ繰返し選択番号 ····· 登録番号 16
⑦ お待たせ動作中の内線ベル ····· 登録番号 17
⑧ お待たせ動作中の保留音 ····· 登録番号 18
⑨ お待たせ第２メッセージの送出時機 ····· 登録番号 19
⑩ お待たせ第２メッセージの送出後の動作 ····· 登録番号 20
⑪ アラームブザーの鳴動開始時機 ····· 登録番号 21

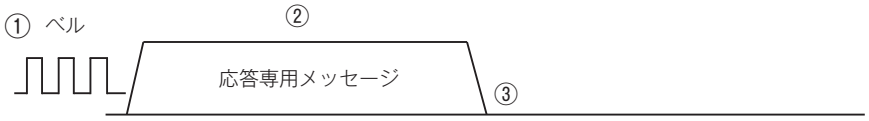


・プッシュ信号で電話機を呼び出した後の動作



応答専用モード

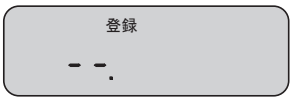
① 応答までの着信ベル回数 ····· 登録番号 01
② 応答専用メッセージの送出 ····· 登録番号 02
③ 応答専用メッセージの送出回数 ····· 登録番号 03



● 機能設定のしかた

準備 応答セット中（応答ランプが点灯中）は、登録操作に入れません。
応答ランプの消灯を確かめ、点灯しているときは［応答］ボタンを押して消灯させる。
（初めから応答ランプが消灯しているときは、手順１へすすむ。）

1 ［登録］ボタンを押す。
・先頭の【 - 】が点滅します。
・登録番号の入力待ちとなります。



2 ［数字］ボタンで設定したい登録番号を押す。
・ディスプレイに登録番号が表示されます。
＊表示は、お待たせ動作機能の登録番号［11］を設定した場合です。
・登録データが点滅表示します。（この場合は【 0 】）
・設定値の入力待ちとなります。

3 ［数字］ボタンで設定したい設定値を押す。
＊表示は、「コールスクリーニング」の［1］を設定した場合です。

4 ［セット］ボタンを押す。
・この場合は、お待たせ動作 (コールスクリーニング）機能が設定され、ディスプレイは、次の登録番号【 12 】を表示します。
・登録データが点滅表示します。（この場合は【 3 】）
・設定値の入力待ちとなります。

5 機能設定入力表に従って手順３，４を繰返し操作し、各モードの項目を設定する。

6 設定を終るとき、［解除］ボタンを押す。
・ディスプレイは、着信件数表示になります。
＊表示は、総着信件数の場合です。

ワンポイント

- 登録中に約２分間何のキー入力もないときは、登録状態が解除されます。この場合は、最初から登録をやり直してください。
- 数字入力を間違えたときは、［クリア］ボタンを押して最初から数字を入れ直してください。
- 設定値を入力せずに［セット］ボタンを押すと、次の登録番号の設定値が点滅表示します。
- 設定値を入力した後に［クリア］ボタンを押すと、設定値は無効になり、入力前の設定値を点滅表示します。
- 登録を確認する場合は、「機能設定のしかた」の手順１，２を行い、［セット］ボタンを繰り返し押してください。

メッセージの録音と再生

お待たせメッセージ、選択呼出しメッセージ、応答専用メッセージは、次の方法で録音することができます。

マイク録音	添付のマイクにより録音する方法です。
オーディオ機器録音	テープレコーダーなど、オーディオ機器により録音する方法です。
ミキシング録音	マイクとオーディオ機器の出力をミキシングして録音する方法です。

■メッセージの録音のしかた

● お待たせモードの場合、次の９種類のメッセージが録音でき、メッセージごとに固有のチャンネル番号が割り当てられます。録音・再生時は、それぞれのチャンネル番号を指定して、操作してください。

	チャンネル番号
お待たせ第１メッセージ	１CH
お待たせ第２メッセージ	２CH
オリジナル保留音	３CH
選択呼出しメッセージ	４～９CH

※ お待たせ第１メッセージは必ず録音してください。
※ お待たせ第２メッセージは、２CHに録音すると自動的に送出され、録音しないと送出されません。オリジナル保留音、固定保留音にするには、機能設定「登録番号 18」の設定が必要です。
また、３CHに録音するとオリジナル保留音に、録音しないと固定保留音に切り替わります。
※ ４～９CHは、選択呼出しメッセージで機能設定「登録番号 11」が「2」の時のみ使用します。
※ 選択呼出し機能を使用する場合、機能設定「登録番号 14」で設定したチャンネルには、必ず録音してください。

● 応答専用モードの場合、終業案内・休日案内など、用途に合わせて最大９種類の応答専用メッセージが録音できます。個々のメッセージを指定するときのため、固有のチャンネル番号が割り当てられています。録音・再生するときは、このチャンネル番号を指定して、操作してください。

	チャンネル番号
応答専用メッセージ①	１CH
応答専用メッセージ②	２CH
≀	≀
応答専用メッセージ⑨	９CH

※ 応答専用モードを使用する場合、機能設定「登録番号 02」で設定したチャンネルには、必ず録音してください。

STOP お願い

● 本機には固定のメッセージは用意されていません。各メッセージは、お客様が録音してご利用ください。
● 保留音は、固定のオルゴールが内蔵されています。オリジナル保留音を録音しない場合は、固定の保留音が送出されます。（曲名：潮騒のメロディ）
● 応答するメッセージは、全回線共通のチャンネルでの応答になります。回線ごとに異なるメッセージで応答することはできません。

準備

① マイクをマイクジャックに接続する
（またはオーディオ機器をテープジャックに接続する。）
② 応答セット中（応答ランプが点灯中）は、メッセージの録音はできません。応答ランプの消灯を確かめ、点灯しているときは［応答］ボタンを押して消灯させる。
（初めから応答ランプが消灯しているときは、手順１へすすむ。）

1 「お待たせ」および「応答専用」の動作モードは、［応答モード］ボタンを押すたびに交互に切り替わります。

● **お待たせモードのメッセージの録音**
お待たせメッセージ、オリジナル保留音、選択呼出しメッセージを録音するときは、［応答モード］ボタンを押して「お待たせモードランプ」を点灯させる。

● **応答専用モードのメッセージの録音**
応答専用メッセージを録音するときは、［応答モード］ボタンを押して「応答専用モードランプ」を点灯させる。

2 ［録音］ボタンを押す。
・ディスプレイに録音可能時間を表示します。
・【－】が点滅し、チャンネル番号の入力待ちとなります。
＊例は、録音可能時間が30分47秒であることを表しています。

3 選択したモードで録音したいチャンネル番号（１～９のうち１つ）を、［数字］ボタンで入力する。
・指定したチャンネルが点滅します。
・［クリア］ボタンを押すと手順2へ戻ります。
・すでにメッセージが録音されている場合は、ディスプレイにそのチャンネルの録音時間を表示します。
（録音されていない場合、録音時間は【0:00】を点灯表示します。）

4 メッセージの消去
［セット］ボタンを押す。
・指定したチャンネルが点灯します。
指定したチャンネルが録音済みの場合は、「ピッピッピッ」と音が鳴り【-[-】を表示し、メッセージを消去する。
・メッセージを消去後に録音開始待機となります。
（指定したチャンネルが未録音の場合は、録音開始待機となります。）
・オーディオ機器から録音するときは、ここで再生状態にする。

5 録音開始
録音を始めるとき［セット］ボタンを押す。
・ディスプレイは、録音経過時間を表示します。

6 録音終了
録音を終るとき、［解除］ボタンを押す。
・ディスプレイは、録音時間表示になります。
・録音したチャンネルが点滅表示します。

7 続いて、他のチャンネルにメッセージを録音するときは、手順３～６を繰返す。
録音内容を確認するときは、次ページ「メッセージの再生のしかた」を操作する。
・［応答モード］ボタンを押して動作モード（お待たせ／応答専用）を切替えて録音することができます。

8 録音操作の終了
録音操作を終るときは、手順７で［解除］ボタンを押す。
・ディスプレイは、着信件数表示になります。
＊表示は、総着信件数の場合です。

ワンポイント

● 録音モード中に約２分間何のキー入力もないときは、録音モード状態が解除されます。この場合は、最初から録音操作をやり直してください。
● 録音操作をせずに［解除］ボタンを押すと、録音動作が終了します。
● メッセージの消去のみを行うときは、手順２，３，４を行い［解除］ボタンを押します。

■メッセージの再生のしかた

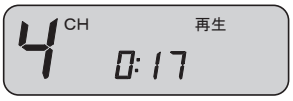
準備 応答セット中（応答ランプが点灯中）は、メッセージの再生はできません。応答ランプの消灯を確かめ、点灯しているときは［応答］ボタンを押して消灯させる。
（初めから応答ランプが消灯しているときは、手順１へすすむ。）

1 「お待たせ」および「応答専用」の動作モードは、［応答モード］ボタンを押すたびに交互に切り替わります。

● **お待たせモードのメッセージの再生**
お待たせメッセージ、オリジナル保留音、選択呼出しメッセージを再生するときは、［応答モード］ボタンを押して「お待たせモードランプ」を点灯させる。

● **応答専用モードのメッセージの再生**
応答専用メッセージを再生するときは、［応答モード］ボタンを押して「応答専用モードランプ」を点灯させる。

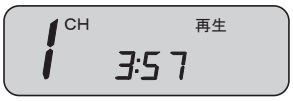
2 ［再生］ボタンを押す。
・ディスプレイは、録音済みチャンネル番号を点滅表示します。



3 再生したいチャンネル番号（１～９のうち１つ）を、［数字］ボタンで入力する。
・ディスプレイは、そのチャンネルの録音時間を表示します。

4 ［セット］ボタンを押す。
・スピーカから録音内容が聞こえてきます。
・ディスプレイは、再生経過時間を表示します。

5 再生が終了すると、チャンネル選択表示（手順３）になります。



6 続いて他のチャンネルを再生するときは、手順３～５を繰返す。
・［応答モード］ボタンを押して動作モード（お待たせ／応答専用）を切替えて再生することができます。

7 **再生操作の終了**
再生操作を終るときは、手順３で［解除］ボタンを押す。
・ディスプレイは、着信件数表示になります。
＊表示は、総着信件数の場合です。

STOP お願い

● メッセージを録音していないチャンネルを指定すると、「ピッピッピッピッ」と音が鳴り、約１秒間【Err3】を表示して再生はできません。

ワンポイント

● 再生モード中に約２分間何のキー入力もないときは、再生モード状態が解除されます。この場合は、最初から再生操作をやり直してください。
● スピーカの音量は、前面の音量調節ツマミ（ボリューム）で調節することができます。
● 再生を途中で止めるときは、［解除］ボタンを押してください。
● 再生操作せずに［解除］ボタンを押すと、再生動作が終了します。
● 初めて再生する場合は、手順２で録音済みチャンネルの若番チャンネルを表示します。その後は、再生した最後のチャンネルを表示します。

メッセージ例

●お待たせ第１メッセージ

こちらは○○でございます。ただ今他の電話にでております（ただ今電話が大変混みあっております）ので、恐れ入りますがしばらくこのままでお待ちくださいませ。
（８～ 10 秒）

●お待たせ第２メッセージ

大変お待たせしておりますが、もうしばらく、このままでお待ちくださいませ。
（約５秒）

●選択呼出しメッセージ

はい○○テレホンサービスです。○○についてご案内いたします。･･･････････････ 以上です。
もう一度聞きなおしをする場合は、「０」（機能設定「登録番号 16:0」の場合）を、さらに詳しくお聞きになりたい方、ご不明の方は、担当者へおつなぎしますので「１」（機能設定「登録番号 15:1」の場合）をダイヤルしてください。なお、ダイヤル信号の方は、プッシュ信号へ切り替えをお願いします。

応答セットをするとき

● 応答モードの切替えについて

［応答モード］ボタンにより、応答モードを切り替えることができます。
［応答モード］ボタンを押すたびに、お待たせモードと応答専用モードが交互に切り替わります。

→ お待たせモード → 応答専用モード →

お待たせモードに設定されているとき	お待たせモードランプが点灯します。
応答専用モードに設定されているとき	応答専用モードランプが点灯します。

本機が応答中でも［応答モード］ボタンを押すことにより応答セットのまま応答モードを切り替えることができ、新たな着信からは応答モードが切り替わります。

■お待たせモード（通常・コールスクリーニング）で応答セットをするには

準備

① お待たせメッセージの録音をする。
（録音のしかたは、「メッセージの録音のしかた」参照）
② 機能設定「登録番号 11」が「0」（通常）または、「1」（コールスクリーニング）になっていることを確認する。

1 応答モードをお待たせモードにする。
お待たせモードランプの点灯を確かめ、消灯しているときは［応答モード］ボタンを押して点灯させる。
（初めからお待たせモードランプが点灯しているときは、手順2へ すすむ。）

2 ［応答］ボタンを押す。
・応答ランプが点灯します。

STOP お願い

● お待たせメッセージを録音していないと、「ピッピッピッピッ」と音が鳴り、約1秒間【 Err3 】を表示して応答セットはできません。

● お待たせ動作中は

① ディスプレイでお待たせ中の回線番号を表示します。

回線表示例

—お待たせ動作中及び通話中の回線番号表示
・お待たせ動作中及び通話中は点灯し、アラームブザーが鳴り始めると、ゆっくり点滅します。

・最古着信（一番最初の着信）の回線番号を表示します。

＊例は、お待たせ動作中の回線が2回線（回線2と回線3）あり、最古着信は回線2であることを意味します。

② スピーカからアラームブザーが聞こえ、お待たせ動作をしていることをお知らせします。
（お待たせモードが通常の場合、電話機の着信音は、鳴り続きます。）

ワンポイント

● アラームブザーの鳴動時機は、機能設定「登録番号 21」により任意に選ぶことができます。
● アラームブザーの音量は、後面のアラームブザー音量調節ツマミで調節することができます。
● 機能設定「登録番号 11」でお待たせモードがコールスクリーニングの場合は、お待たせ第1メッセージの送出が終るまで着信音は鳴りません。

● お待たせ動作中に応対するときは

① 最古着信から応対してください。
② 受話器を上げると、本機でのお待たせ動作は自動的に停止して、お客様と通話ができます。
③ 電話機で応対すると、複数回線でお待たせしている場合、最古着信表示は次に長くお待たせしている回線番号に変わります。

■お待たせモード（選択呼出し）で応答セットをするには

準備

① 選択呼出しメッセージ及びお待たせメッセージの録音をする。
（録音のしかたは、「メッセージの録音のしかた」参照）
② 機能設定「登録番号 11」が「2」（選択呼出し）になっていることを確認する。

1 応答モードをお待たせモードにする。
お待たせモードランプの点灯を確かめ、消灯しているときは［応答モード］ボタンを押して点灯させる。
（初めからお待たせモードランプが点灯しているときは、手順2へ すすむ。）

2 ［応答］ボタンを押す。
・応答ランプが点灯します。

3 選択呼出しメッセージの送出切替
送出したい選択呼出しメッセージのチャンネル番号（4～9のうち1つ）を、［数字］ボタンで入力する。
・ディスプレイの表示は、今入力したチャンネル番号を約1秒間表示します。

＊例では、今回、4チャンネルに切替えたことを表しています。

STOP お願い

● 選択呼出しメッセージ、またはお待たせ第1メッセージを録音していないと、「ピッピッピッピッ」と音が鳴り、約1秒間チャンネル番号及び【 Err3 】を表示して応答セットはできません。

● 選択呼出し時の動作

① 着信があると、設定された着信回数で本機が応答します。
・相手に指定した選択呼出しメッセージ（4～9CH）が送出されます。

② お客様の操作
選択呼出しメッセージ中か、終了後の3秒間に下記のプッシュ信号を入力します。
・機能設定「登録番号 15」で設定したプッシュ信号 ···· お待たせ第1メッセージを流し、電話機を呼出します。
・機能設定「登録番号 16」で設定したプッシュ信号 ···· 再度、選択呼出しメッセージが送出されます。

ワンポイント

● 選択呼出し操作は、プッシュ信号の出る電話機からの操作となります。
● 3秒間の無音時間が終了しても有効なプッシュ信号が受信されない場合は、回線が開放されます。

● 選択呼出し後の、お待たせ動作中は

① ディスプレイでお待たせ中の回線番号を表示します。

回線表示例

お待たせ動作中及び通話中の回線番号表示
・お待たせ動作中及び通話中は点灯し、アラームブザーが鳴り始めると、ゆっくり点滅します。

・一番最初に機能設定「登録番号 15」で設定したプッシュ信号を受信した回線番号を表示します。

＊例は、お待たせ動作中の回線が2回線（回線2と回線3）あり、最古選択回線は回線2であることを意味します。

② スピーカからアラームブザーが聞こえ、お待たせ動作をしていることをお知らせします。
（電話機の着信音は、鳴り続きます。）

ワンポイント

● アラームブザーの鳴動時機は、機能設定「登録番号 21」により任意に選ぶことができます。
● アラームブザーの音量は、後面のアラームブザー音量調節ツマミで調節することができます。

■お待たせモード時の着信データ表示について

・お待たせモードで使用中、ディスプレイは４種類の着信データを表示します。
［表示切替］ボタンを押すたびに、次の順序で表示項目が切り替わります。

→ 総着信 → 即時 → 応答 → 放棄 →

表示例	表示項目	内　　容
	総着信	① お待たせモード時の総着信件数を表示します。 着信の総合計件数（即時放棄件数＋②＋③＋④）です。 （例は、136 件です。）
	即　時	② 即時応答件数を表示します。 本機で応答する前に直接応対した件数です。 （例は、38 件です。） ※「選択呼出し」及び「コールスクリーニング」の時は、本機で応答する前に直接応対することはありませんのでカウントされません。
	応　答	③ 応答件数を表示します。 本機で応答後、応対した件数です。 （例は、91 件です。）
	放　棄	④ 放棄件数を表示します。 ・本機で応答後、応対する前に相手が放棄した件数です。 ・「選択呼出し」の時は、 a. ３秒間の無音時間が終了しても有効なプッシュ信号が受信されない場合 b. 本機が応答して終了した場合 c. 応対する前に相手が放棄した場合 の件数です。 （例は、７件です。）

ワンポイント

- 各項目のデータは、回線ごとにカウントされ、全回線の合計値が最大５桁で表示されます。
回線ごとの件数カウントは、最大 99999 件で全回線の合計値は、399996 件となりますが最大 99999 件と表示されます。
- 応答ランプが消灯中に回線１～４に対応した［数字］ボタン［1］～［4］を押すと、押している間、表示中項目の回線別件数が表示できます。

・総着信を表示中に［数字］ボタン［2］を押した場合（回線２）

- 本機で応答する前に相手が電話を切った場合（即時放棄）の件数は、総着信件数に加算されます。したがって、この場合の総着信件数は、②･③･④の合計値より大きくなります。この場合の即時放棄件数を知りたいときは、「①－（②＋③＋④）」の計算式で求めることができます。
- 停電が発生した時は、着信件数が正しくカウントされない場合があります。

着信データを消去するには

- ［クリア］ボタンを３秒以上押してください。
「ピー」と音が鳴り【-[-】を表示し、着信データが消去され、０件の表示となります。

STOP お願い

- 電話着信中やお待たせ動作中は、着信データの消去はできません。

■応答専用モードで応答セットをするには

平日用･休日用など、用途別に複数の応答専用メッセージを録音しておけば、［数字］ボタンで簡単に送出したいメッセージの選択ができます。

準備

応答専用メッセージの録音をする。
（録音のしかたは、「メッセージの録音のしかた」参照）

1 応答モードを応答専用モードにする。
応答専用モードランプの点灯を確かめ、消灯しているときは［応答モード］ボタンを押して点灯させる。
（初めから応答専用モードランプが点灯しているときは、手順2へ すすむ。）

2 ［応答］ボタンを押す。
・応答ランプが点灯します。
・ディスプレイには、前回使用した応答専用メッセージのチャンネル番号が表示されます。

＊例では、前回、1チャンネルを使用したことを表しています。

3 応答専用メッセージの送出切り替え
送出したい応答専用メッセージのチャンネル番号（1～9のうち1つ）を、［数字］ボタンで入力する。
・ディスプレイの表示は、今入力したチャンネル番号に変わります。

＊例では、今回、2チャンネルに切り替えたことを表しています。

STOP お願い

●手順2で応答専用メッセージが1つも録音してないときは、「ピッピッピッピッ」と音が鳴り、約1秒間【Err3】を表示して応答セットはできません。
●手順3で録音していないチャンネル番号を入力すると、「ピッピッピッピッ」と音が鳴り、約1秒間チャンネル番号及び【Err3】を表示してメッセージの送出切り替えはできません。

● 応答専用メッセージの送出指定について

お買い上げ時は自動応答時に1チャンネルの応答専用メッセージを送出するように設定されていますが、応答専用メッセージの送出切り替え（手順3）をすると、指定したチャンネル番号の応答専用メッセージに切り替わります。（この場合、登録番号 02 の設定値も同時に指定したチャンネル番号に変わります。）

● 着信データ表示について

・応答専用モードで使用中、ディスプレイは総着信件数（最大5桁）を表示します。

総着信件数	本機で着信に応答した件数（全回線の総合計数）

＊［表示切替］ボタンを押しても他の表示には切り替わりません。

・着信データを消去するときは、［クリア］ボタンを3秒以上押してください。
「ピー」と音が鳴り【-[-】を表示し、着信データが消去され、0件の表示となります。
・応答ランプが消灯中に回線1～4に対応した［数字］ボタン［1］～［4］を押すと、押している間中、回線別着信件数が表示できます。

STOP お願い

● 電話着信中や応答中は、着信データの消去はできません。

■応答セットを解除するには

1 応答ランプが点灯しているときに［応答］ボタンを押す。

・応答ランプが消灯します。
（現在電話着信中や応答中の回線がある場合、その動作が終了するまでの間応答ランプが点滅します。応答ランプが点滅している状態では、着信があっても応答しません。）

● 応答セットの解除を取消すには

・手順１で応答ランプが点滅している場合に、再度、応答セットに戻したいときは（応答セットの解除を取り消したいときは）、［応答］ボタンを押してください。再度、応答セットされ、応答ランプが点灯します。

設置工事

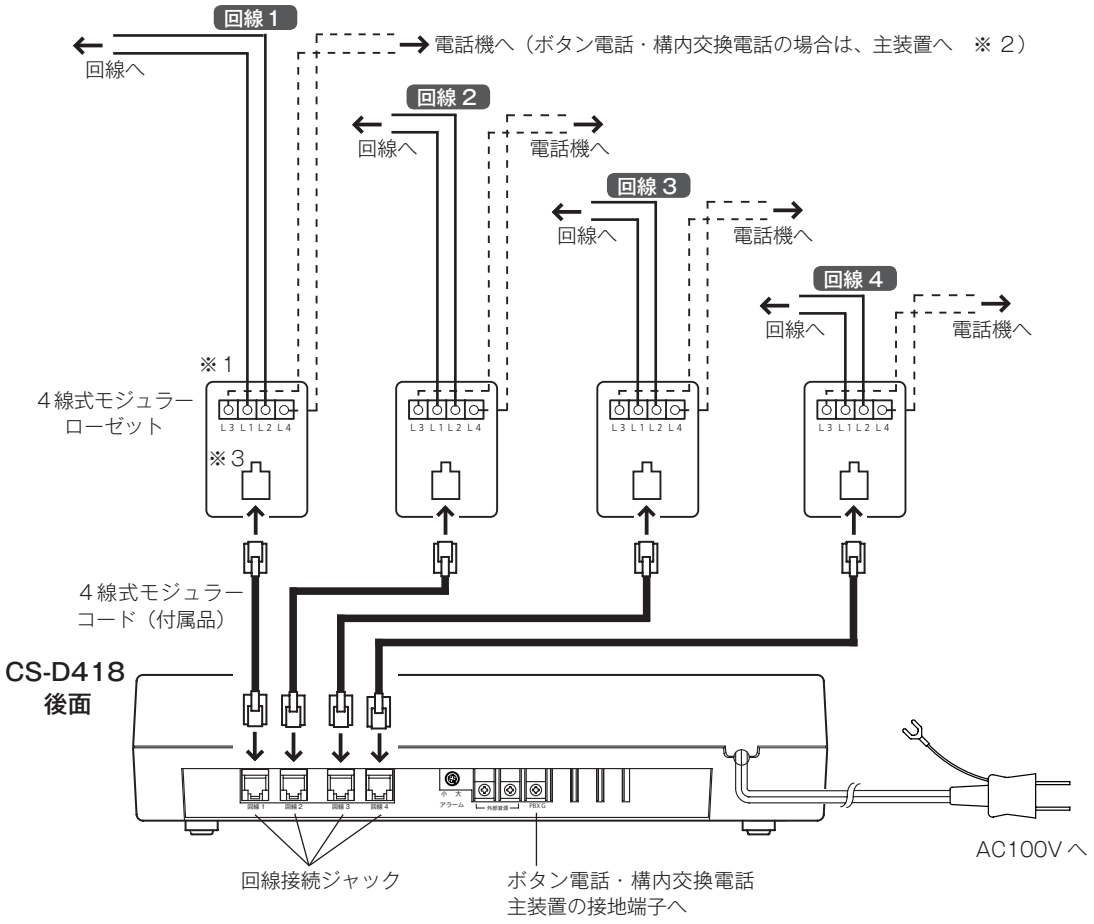
販売店用

◎ 設置工事は、お買い上げの販売店へご依頼ください。（工事費は別途）

⚠警告 本機を積み重ねたり、通風孔をふさいだりして使用しないでください。
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

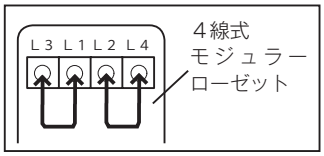
■電話回線の接続

本機は、電話回線に直列（シリーズ）に接続します。
接続に際しては、４線式モジュラーローゼットが１回線当たり１個必要となりますのでご用意ください。



STOP お願い

- （※１）モジュラーローゼットのＬ１端子が＋極性になるように接続してください。
- （※２）ボタン電話・構内交換電話に設置の場合、主装置の回線端子の極性が設置前と変わらないように接続してください。極性が変わると、本機が着信に自動応答できなかったり、電話機からの外線発信ができなくなることがあります。
- （※３）モジュラーコードが接続していない状態のとき、回線側と電話機側の間は断線状態となります。（メンテナンス等でモジュラーコードの取外しが必要な場合は、右図のように回線側と電話機側を短絡してください。）



■外部音源の接続

お待たせ動作中に送出する保留音として、オリジナル保留音、固定保留音のほかにテープレコーダーやラジオ放送などのオーディオ機器（外部音源）が接続できます。
オーディオ機器（外部音源）を使用する場合は、本機後面の外部音源入力端子にオーディオ機器（外部音源）の再生出力を接続してください。次の定格のものが使用できます。

●オーディオ機器（外部音源）の定格

適正出力レベル	0±4dBm
出力条件	常時、出力しきりのこと
適合インピーダンス	8～600Ω

オーディオ機器（外部音源）を接続後、機能設定「登録番号 18」の設定が必要です。

■電源の接続

1 電源プラグを AC100V 電源コンセントに差込む。
（接地は必ず行ってください。）

・ディスプレイは、【 ------ 】を約 1 秒間点滅表示し、着信データ表示となります。

故障とお考えになる前に

・故障とお考えになる前に、次のことをお調べください。
お調べになっても異常のあるときは、お求めの販売店へご連絡ください。

こんなときには	お確かめください	参照ページ
ディスプレイに表示が出ない	電源プラグが外れていませんか？	P.24
［応答］ボタンを押しても、応答セットができずに「ピッピッピッピッ」と音が鳴る。	お待たせメッセージまたは応答専用メッセージが未録音ではありませんか？	P.18 P.19 P.21
メッセージが録音できない	応答ランプが点灯していませんか？ 応答ランプが点灯中（応答セット中）は、メッセージが録音できません。［応答］ボタンを押して解除（応答ランプを消灯）したのち、録音してください。	P.15
	マイク（またはテープ）ジャックにプラグが差込んでありますか？	P.15
選択呼出しができない	プッシュ信号の出ない電話機から選択呼出し操作をしていませんか？	P.19

● エラー表示について

・操作中に異常があるとディスプレイにエラー表示をします。この場合は、以下の処置をしてください。

エラー表示	内　　容	処　　置
Err 1	録音容量が満杯のときに、新規のチャンネルへ録音をしようとしたとき。	再録音し、各メッセージ長を調整してください。
Err2	マイクジャックにマイクを接続せずに（またはテープジャックに録音用コードを接続せずに）録音の操作をしたとき。	マイクまたは録音用コードを接続して録音の操作をしてください。
Err3	**お待たせモード（通常・コールスクリーニング）** ：お待たせ第１メッセージが録音していない状態で［応答］ボタンを押し、応答セットしようとしたとき。 **お待たせモード（選択呼出し）** ：機能設定「登録番号 14」で指定した選択呼出しメッセージまたはお待たせ第１メッセージに録音していない状態 で［応答］ボタンを押し、応答セットしようとしたとき。またはメッセージの送出切替のとき、録音してないチャンネルを指定したとき。 **応答専用モード** ：機能設定「登録番号 02」で指定したチャンネルに録音してない状態のときに［応答］ボタンを押し応答セットしようとしたとき。またはメッセージの送出切り替えのとき、録音してないチャンネルを指定したとき。	該当のチャンネルにメッセージを録音してください。

主な仕様

回線種別		アナログ一般回線
収容回線数		最大４回線
メッセージ	録音時間	30 分
	録音 チャンネル数	お待たせ：２チャンネル／選択呼出し：６チャンネル／ 応答専用：９チャンネル オリジナル保留音：１チャンネル
	録音方法	マイク／オーディオ機器／ミキシング
使用電源		AC100V ± 10V(50/60Hz)
消費電力		最大約 28W
寸法		324mm(幅) × 240mm(奥行) × 75mm(高さ)
質量		約 2.2Kg

● 添付品

品　　名	個数	単位	備　　考
マイク	1	個	ローインピーダンス・ダイナミックマイクロホン 3.5mm ミニプラグ
録音用コード	1	本	
モジュラーコード	4	本	６極４芯コード
取扱説明書	1	冊	

（コピーしてご利用ください。）

機能設定入力表

電話着信お待たせ装置
コールシーケンサー
ＣＳ－Ｄ４１８

ご使用前の機能設定時に、この入力表をご利用ください。（詳しくは 10,11 ページをご覧ください。）

	登録番号	登録項目	設定値	入力値	初期値
応答専用モード時の設定	０１	応答までの着信ベル回数の設定	［　］回目の着信ベルで自動応答	１～２０	１
	０２	応答専用メッセージの送出指定	［　］チャンネルのメッセージを送出	１～９	１
	０３	応答専用メッセージの送出回数設定	□相手が電話を切るまで繰返し送出	０	１
			□［　］回送出後、電話を切る	１～９	
お待たせモード時の設定	１１	お待たせ動作機能の設定	□通常	０	０
			□コールスクリーニング	１	
			□選択呼出し	２	
	１２	応答までの着信ベル回数の設定	［　］回目の着信ベルで自動応答	１～２０	３
	１３	お待たせ動作中の着信ベル回数の設定	□常に、登録番号 12 で設定したベル回数で自動応答	０	０
			□１回目の着信ベルで自動応答	１	
	１４	選択呼出しメッセージ送出設定	［　］チャンネルのメッセージを送出	４～９	４
	１５	選択呼出し受付け選択番号の設定（登録番号 16 との重複不可）	プッシュ信号［　］	０～９	１
	１６	選択呼出しメッセージ繰返し選択番号の設定（登録番号 15 との重複不可）	プッシュ信号［　］	０～９	０
	１７	お待たせ動作中の内線ベルの設定	□送出しない	０	１
			□お待たせ動作中の全回線に送出する	１	
			□最古着信の回線のみ、送出する	２	
	１８	お待たせ動作中の保留音の設定	□オリジナル保留音、固定保留音を使用する	０	０
			□外部音源を使用する	１	
	１９	お待たせ第２メッセージの送出時機の設定	□お待たせ第１メッセージに続いて送出	０	１０
			□お待たせ第１メッセージのあと、［　］秒後に送出	１～９９９	
	２０	お待たせ第２メッセージ送出後の動作設定	□回線を切る	０	１
			□内線側で応対するまで保留音を送出	１	
			□お待たせ第１メッセージ後の動作を繰返す	２	
	２１	アラームブザーの鳴動開始時機の設定	□鳴らさない	０	３
			□お待たせ第１メッセージの送出開始時から鳴動	１	
			□お待たせ第１メッセージの送出終了時から鳴動	２	
			□お待たせ第２メッセージの送出開始時から鳴動	３	
			□お待たせ第２メッセージの送出終了時から鳴動	４	

※ お買い上げ時は初期値に設定されています。

アフターサービスについて

- 本書は、下記記載の保証条件で無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、発信・通話などの利用機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保証書

型名 / 保証期間		コールシーケンサー　CS-D418　/　お買い上げから 1 年間
お買い上げ日		年　　月　　日
お客様	お名前	
	ご住所	〒
	電話番号	
販売店	名前	
	住所	〒
	電話番号	

保証条件

1. 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。
3. 保証期間内であっても、次の場合は有料修理となります。
   ①保証書の提示がない場合
   ②保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
   ③保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
   ④誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
   ⑤輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
   ⑥火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
   ⑦本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
   ⑧不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
   ⑨消耗品を交換した場合
4. この保証書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.
5. この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
6. ご贈答品、ご転居後の修理については、当社修理センターにご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター　0570-03-8811

受付時間：月～金 9：00 ～ 17：30　<土・日曜日、祝日、当社指定休日除く>

修理に関するご相談

●製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または当社「修理センター」へお問い合わせください。

当社ホームページ http://www.takacom.co.jp
「サポート修理センターご案内」をご覧ください。

株式会社タカコム　検索

株式会社 タカコム

本社・工場／〒 509-5202　岐阜県土岐市下石町西山 304-709

P1FF02100406R　Feb. 2013